

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		中心市街地活性化事業						予算事業名		中心市街地活性化事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	中心市街地の活性化に関する法律							
				07	01	03	2001	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)							事業の区分		主要事業					
		3-3活気にあふれた商業の振興 (商業)									重点事業					
		②にぎわいのある商業の振興							担当課係等		商工観光課					
		3空き店舗の利活用									商工振興係					
事業期間		継続 (平成16年度～ 年度)														
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
結城市内で起業する方が増え、空き店舗の活用に補助金を交付することで空き店舗が解消され、新しい人の流れにより中心市街地が活性化								北部市街地の活性化及び、商店街の振興を目的として事業を開始した								
する。																
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】								
創業支援者に対して、創業支援セミナー(経営・財務・人材育成・販路開拓)を実施し、規定の回数を受講した者に、証明書を交付し登録免許税の軽減措置や信用保証料枠の拡大等の支援を受けることができるよう手続きを行う。証明書が発行された者で、中心市街地での創業を希望する場合は、空き店舗の活用に補助金を交付する。								市民								
また、観光誘客を図るため、観光客向け商品の取扱いを条件として、市内の事業者が店舗を改修する際にリフォーム資金の一部を補助する。								創業希望者								
								空き店舗を活用する団体及び個人								
								【事業をとりまく環境の変化】								
								中心市街地の商店街は、経営者の高齢化と後継者不足などによる空洞化が進み、空き店舗が増加し、シャッターの閉まったままの建物が多く商店街に活気がない。								
								しかしながら、コワーキングスペースyuinowaを中心に、新しい人の流れが生まれつつあり、創業に関する問い合わせが増えている。								
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】								
創業希望者に対しセミナーを実施し、規定の回数を受講した者に証明書を交付し、登録免許税の軽減措置等の支援を受けることができるよう手続きを行うとともに、空き店舗の活用に対する補助事業を実施する。また、市内事業者が店舗を改修する際に、資金の一部を補助する。				創業希望者に対しセミナーを実施し、規定の回数を受講した者に証明書を交付し、登録免許税の軽減措置等の支援を受けることができるよう手続きを行うとともに、空き店舗の活用に対する補助事業を実施する。また、市内事業者が店舗を改修する際に、資金の一部を補助する。				創業希望者に対しセミナーを実施し、規定の回数を受講した者に証明書を交付し、登録免許税の軽減措置等の支援を受けることができるよう手続きを行うとともに、空き店舗の活用に対する補助事業を実施する。また、市内事業者が店舗を改修する際に、資金の一部を補助する。								
■事業費																
				H30年度		R01年度										
財源内訳	国	庫	支	出	金	0	0									
	県		支	出	金	0	0									
	地		方		債	0	0									
	そ		の		他	0	0									
	一		般	財	源	2,493	3,817									
歳入計(千円)				2,493		3,817										
歳出内訳	節(番号+名称)				金額(千円)		金額(千円)									
	09	旅費			4		9									
	11	需用費			8		8									
	13	委託料			1,200		1,200									
	14	使用料及び賃借料			673		600									
	15	工事請負費			48		0									
	19	負担金補助及び交付金			560		2,000									
	歳出計(千円)(A)				2,493		3,817									
伸び率(%)						53.10										
備考	総合計画104ページ 予算書130ページ															

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	創業支援セミナー受講者数	人	目標	40.00	40.00	40.00
	結城市商工会議所で開催する「起業・創業支援セミナー」の受講者数		実績	77.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	空き店舗を活用した起業・創業者数	人	目標	2.00	2.00	2.00
	セミナー受講者のうち、空き店舗を活用した起業・創業者数		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	中心市街地において、空き店舗の活用を推進し活性化を図るため、必要性がある。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	事業を実施する上で、補助を行うことが必ずしも適切な手段とは言えない。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	民間資本による活用へシフトする必要がある。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	補助支援期間以降の継続性を把握する必要があるため、どちらとも言えない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	偏りはない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	補助支援期間が過ぎると店を閉めてしまうケースもあり、補助支援期間以降の継続性を考えると、どちらとも言えない。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	補助支援期間が過ぎると店を閉めてしまうケースもあり、補助支援期間以降の継続性を考えると、どちらとも言えない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
既存の商店街の経営者は年々高齢化が進み、後継者がいないため世代交代が進まず、閉店する商店が多いが、北部中心市街地活性化エリア内の空き店舗を補助の対象としているため、対象となる貸出可能な空き店舗数は少ない。 また、令和2年度には市役所が駅南に移転するため、北部中心市街地の振興を図るうえで、地域及び商店街の活性化の方法について検証していく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
平成28年5月20日に結城市創業支援事業計画が国の認定を受け、現在創業支援ネットワーク協議会を立ち上げ、情報の共有化を図っている。今後も創業希望者に対して、創業支援セミナーを実施するとともに、登録免許税の軽減措置、信用保証料の枠の拡大等、支援を受けられることができるメリットのPRについて拡充を図る。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） まちひとしごと総合戦略から創業支援に力を入れてきて、いくつかの出店があり流れが出て来た。次の展開を検討する時期に来ているのではないかと考える。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。